

「ターボ機械による省エネ技術」

地球温暖化問題で省エネルギー対策が各分野で積極的に行われている。ターボ機械は発電や化学プラント及び上下水処理システムなど社会インフラを支えるテクノロジーとして重要な役割を担っており、ターボ機械による省エネルギーは社会的に大きな影響力を持っている。

本セミナーではガスタービンやターボ冷凍機などターボ機械による最新の省エネ技術について紹介するとともに、システム全体の省エネについても説明する。

- ・協賛（予定） （社）日本機械学会、（社）火力原子力発電技術協会、（社）日本原子力学会、（社）化学工学会、（社）日本水道協会、（社）日本プラントメンテナンス協会
- ・日時：2009年12月9日（水）9：30～16：50
- ・会場：機械振興会館 6階 67号室（東京都港区芝公園3-5-8）
- ・参加費：会員 35,000円、非会員 40,000円、学生 10,000円

【プログラム】

時間	テーマ	内容	講師（敬称略）
9:30 ～10:40	省エネとは	熱サイクル全般、熱効率向上・エクセルギー・コ・ジェネレーション、ヒートポンプ、動力回収など、省エネ全般を説明する。	千代田化工建設 坂口 順一
10:50 ～11:50	汎用ポンプの省エネ	ビルやマンションで使用される給水装置に関し、その給水方式／制御方式を紹介するとともに、推定末端圧力一定制御などの省エネ技術について説明する。	荏原製作所 川井 政人
13:00 ～14:10	省エネ熱回収形蒸気駆動空気圧縮機	蒸気モータで駆動する空気圧縮機の圧縮動力を高温水として回収。電動機に対し、ランニングコストで▲85%、CO2発生量の▲90%削減を達成。	神戸製鋼所 松井 孝益
14:20 ～15:30	コンバインドサイクル発電用ガスタービンの最新技術動向	発電効率59%（LHV）の1500℃級ガスタービンコンバインドサイクルの説明とその中核であるガスタービンの最新技術の動向について紹介する	三菱重工業 岩崎 洋一
15:40 ～16:50	次世代超々臨界発電技術（A-USC）	石炭利用発電技術として蒸気温度700℃級を目標としてA-USC開発が進められている。開発状況の紹介とターボ機械に要求される課題について説明する。	三菱重工業 田中 良典

- ・定員：60名
- ・申込方法：E-mail または FAX で、①参加者名、②連絡先住所、電話番号、③社名（学校名）、所属、④会員/非会員の別 ⑤第89回セミナーを明記の上お申込ください。
- ・参加費は事前に、現金書留または銀行振込にてお支払いください。  
振込銀行：みずほ銀行 駒込支店、普通預金932599 ターボ機械協会
- ・申込先：〒113-8610 東京都文京区本駒込6-3-26 日本工業出版ビル  
ターボ機械協会事務局 セミナー受付係  
(TEL:03-3944-8002, FAX:03-3944-6826, E-mail:turbo-so@pop01.odn.ne.jp)
- ・申込期限：定員になり次第締切ります。なお、申し込み後のキャンセルはできませんので、ご注意ください。

ターボ機械協会継続教育制度が開始され、各講習会・セミナーに参加されるとポイントが付加されます。

「本セミナーのターボ機械協会 CPD ポイントは中級 5.7 です。」